

## 神奈川県作業療法士会ニュース154号 目次

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 巻頭言              | 10 県学会準備委員会からのお知らせ    |
| 2 震災ボランティア体験記      | 11 理事会抄録              |
| 4 OTのためのIT講座（第12回） | 12 求人広告（3件）・講習会案内（5件） |
| 6 各部からのお知らせ        | 14 青年海外協力隊通信（第7回）     |
| 8 地域リハ部のページ        |                       |

## 巻頭言

### すべては国民のために

（一般社団法人）神奈川県作業療法士会 事務局長 澤口 勇



早いもので、東日本大震災から1年が過ぎました。その間、世界ではギリシャの金融不安やタイの大洪水、アメリカの長引く不況、またそれに伴う日本の円高、日本電機産業の大幅赤字、また原発の放射線で汚染され、いまだにふるさとに帰れない人々、普天間問題、政治不信…。負の連鎖というのでしょうか…本当につらく、目まぐるしい1年でした。

いざ、日本の医療やリハビリはどうか。今年の診療報酬と介護保険同時改定で何が変わるのか？それとも変わらないのか？

話を少し変えましょう。専門職の数のお話をします。神奈川県内の状況を見ると、人口比で看護師の需用が全国ワーストワンに迫る勢いであることは皆さんあまり知らされていないかも知れません。都市型の医療がとり行われている印象は強いのですが、実は医療過疎なんです。

ところで県内の作業療法士は足りているのか？神奈川県士会の会員数は現在約1700名。神奈川県の人口906万人（平成24年1月現在）に対して県民1人あたり0.02%の充足しかありません。神奈川

県からも助成を受けて「生涯教育講座」を行い、県士会としても人材育成に努めておりますが、この人口比から言えば中々追いつけません。

冒頭申し上げた制度ですが、その制度がいくら変わりより良い提案がなされても、それを動かすのは臨床現場の皆さんであり、人です、人材です、そして数です。これらが全て揃わなければ医療福祉全体の質は保てませんし、ビジョンや制度そのものを実現できないと思います。ご自身を鍛錬し、自己研鑽に努めることで人や人材は育つと思うのですが、数はひとりの力ではできません。

平成24年4月15日(日)、神奈川県立保健福祉大学講堂において第4回神奈川県作業療法士会総会が開かれます。我々専門職は、国民に対し、彼らの暮らしや健康を守る責任があると思います。そして神奈川県士会会員の皆様は特に、県民に対し、専門職を行使する責務があるのだと思います。総会に参加し、皆さんの声を投げ、連帯としての責務を果たしましょう！

2012.2.大雪の蔵王温泉にて

## 災害復興ボランティア報告 「福島県南相馬市での支援活動」

### 湘南中央病院OT 広報部ニュース編集班

矢野 竜也

12月11日～17日まで福島県南相馬市で支援活動をしてきました。現地は福島第一・第二原発の事故により出されていた緊急時避難準備区域が解除され徐々に住民が戻りつつある状態でした。至る所で除染作業が進んでおり学校なども再開されておりました。しかし避難先で生活基盤が整いつつある人は戻ることができないため、現地在住の職員をかかえる病院は、スタッフが足りない状態でした。

現地での支援活動の内容は、20余りある仮設住宅内の集会所で行われる「サロン活動」に、社会福祉協議会の生活支援相談員と共に参加する、というものでした。また、仮設住宅に入居されている方の個別相談も担当しました。サロン活動は2時間ほどで、現地の栄養士や歯科衛生士の方とともに作業療法士としてのお話をさせていただきました。認知症予防、姿勢指導、体操、ストレッチなどの話題を、

参加者との会話を通して進めていきました。参加者はどの集会所も10名ほどでしたが、生活支援相談員によるとサロンに参加される方は積極的な方ということです。

参加されないか、あるいは参加できない方に対しては、個別相談に伺いました。私は30年以上前の脳梗塞により重度の麻痺がありながらも、被災前は自宅内自立しておられた方にお会いしました。その方は今回の避難所と仮設住宅の生活で、一人で立ち上がることも歩くこともできなくなり、妻の介助でなんとかトイレまで行っている状態でした。手すりなど付けても介助量は変わらなかったため、生活支援相談員から作業療法士に相談がありました。まず動作の確認をさせてもらい、その方の障害の特徴と身体機能を評価したうえで何とか一人で行え、かつ安全に行える方法をお伝えしました。お一人で立ち上がるができるようになると、その方は涙を流して喜ばれていました。作業療法士であれば、お会いしてお話を聞き何かをお伝えするだけでなく、専門性を活かして支援することができると思いました。



サロンの活動風景：サロンの冒頭での一コマ。寒い日こそ縮こまらず胸を張ってぼかぼかになりましょう！と話しました。



ストレスへの対処方法：ストレスが脳に与える悪影響と、脳をどう働かせればストレスに強い脳になるか、をお伝えしているところです。





一緒に活動をした相談員の方々と：震災から現在まで歯を食いしばって活動をされている相談員の方々との出会いは一生の宝物で、これからもつなっていきたいと思います。



栄養士による講話：以前から活動をされていた栄養士の生活習慣病についての説明と注意点など参加者の皆さんは食への関心が高い方が多く、皆聞き入っていました。



肩甲骨体操の一場面：連日最低気温が氷点下の中、頑張っている仲間をお互いにいたわり合ってもらおうとマッサージも兼ねて肩甲骨と姿勢について話をしました。

私は日本作業療法士協会が募集して間もなく職場に相談し皆の協力を得て応募しました。5月の釜石での活動をしたことで職場や病院の理解を得られやすかったです。第一期ということでトップバッターとして現地入りしましたが、第二期の希望者がおらず残念ながら直接会って引き継ぎをすることも、その後のフォローをお願いすることもできませんでした。その方たちのこれからのことや、お会いできなかった方々が大勢いることを考えると、わずかの期間で支援を一旦休止してしまうことを心苦しく思います。作業療法士協会のどなたかに、今後の支援を継続していただけることを信じて戻らざるを得ませんでした。

現地の仮設住宅の多くは町の中心から離れた場所にあります。馴染みもなく交通の便も悪い仮設住宅に住む方々の活動量は確実に減ってきています。サロン活動の参加者に伺ったところ、1日20分以上

歩く、答えた方は1～2割ほどであり、ほとんど歩かなくなってしまっているとおっしゃっていました。被災前は何とか自立されていたり、見守り程度の介護であった方は、ほぼ確実に介護量が増えており徐々に深刻さが増している状態でした。そうした方々に対して何をしたらよいか、簡単に答えは出ないと思いますが、やはり現地に行って、直接お会いして会話をし、その場でしかできない体験を通して作業療法士の専門性を発揮していく必要があると思います。

作業療法士協会が行っている現地の派遣は3月までの予定ですが、支援活動が延長されるかもしれませんし、他の地域の支援が募集されるかもしれません。皆さんが作業療法士として仕事をしているのであれば、その力を是非被災地でも発揮していただきたいと強く思います。ご協力よろしくお願いします。



# OTのためのIT講座

## 第12回 Q&A特集



講師  
石川 敢也さん



松本 いやあ、早いもので、この連載も今回で2周年になりました。今後ともよろしくお願いしますね。



石川 ここまで連載を続けてこれたのは松本さんのおかげです。こちらこそよろしくお願いします。



松本 それにしても、この2年の間にはいろいろと……



石川 あ、今回は連載2周年記念ということで、たくさんのQ&Aをご紹介したいので、このトークはこのへんで。(笑)



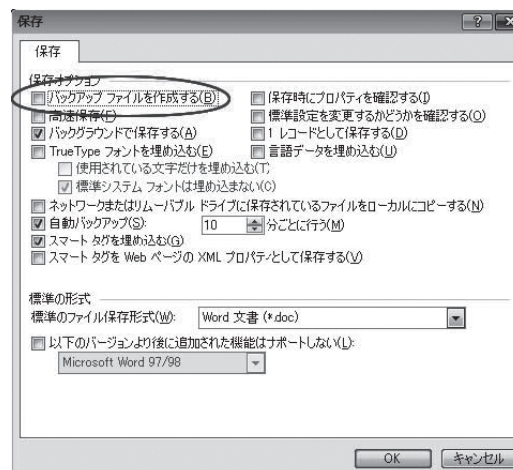
松本 はい、よろしくお願いします。



## Q&A

**Q 「名前を付けて保存」と「上書き保存」を間違えた  
ファイル名を変えて保存しなければいけないのに、うっかり上書き保存をして前の内容を消してしまいました。どうすればいいですか？**

**A** ファイルを閉じる前なら「すべて選択→コピー→新規作成→（作成した新しいファイル）に貼り付け」で新しい内容を保存し、元のファイルの「戻る」ボタンで復元できる場所まで戻せます。  
上書き保存して閉じてしまった場合でも、「ツール→オプション→保存」を開いて「バックアップファイルを作成する」にチェックが入っていればバックアップファイルが残っていますし、過去にメールで送信していれば送信済みのメールに添付ファイルとして残っています。  
これらのファイルが検索できなければ、一般的な対処法はないと思ってください。業者に復元を依頼することはできますが、膨大な作業になります。



**Q 新しいワードとエクセルが使いにくい！**

パソコンを買い換えたのですが、ワードとエクセルが使いにくくて困ってます。なんとかありませんか？

- A 慣れれば困るほどは使いにくいということもない気もしますが、どうしても以前のメニュー表示が良いという場合には、フリーソフトで「Office 2003」のように変更することもできます。  
「オールドスタイル メニュー アドイン」などのキーワードで検索してみてください。とはいえ、今後  
もご活躍されるOTの皆さんには、徐々に新しいインターフェースに慣れてることをお勧めしておきま  
す。

**Q プリンタのインクが高すぎる！**

プリンタのインクが少なくなったという警告が出たので、インクを買いに行きました。換えのインクは  
5千円くらいでしたが、同じコーナーに新しいプリンタが7千円台で売っていました。新しいプリンタ  
を買うべきだったのでしょうか？

- A プリンタのインクの価格設定については、あちこちで議論されている問題です。プリンタごと新しく  
するのが良いかどうかは「正解」が難しい問題です。数年に渡って使用した旧型のプリンタであれば  
買換えて良いでしょうし、環境や資源の問題を考えれば壊れてもいない物をなんで…ということにな  
ります。  
コストを抑える目的なら「互換インク」と呼ばれる非純正品（キャノンやエプソンなどではなく、他  
のメーカーが作って安価で販売しているインクカートリッジ）を購入する手がありますが、品質に問  
題がある場合もあるようです。自分でインクを注入するタイプの商品もありますが、今のプリンタは  
精巧で繊細なので、上手くいかないこともあるようです。  
ちなみに私は新しいインクジェットの複合機と、10年近く前の白黒レーザープリンタを併用して使  
っています。

**Q ログオン画面に並ぶユーザーの順番を変えたい**

Windowsを起動するときのユーザー名の順番（アイコンの並び順）を変えたいのですが、操作が分か  
りません。

- A そのままでは順番を変更することはできません。  
アカウント名が「数字→英字→かな→漢字」の順に並んでいるはずなので、アカウント名の前に「01、  
02、03」など順番を指定する文字を加えれば順番を指定できます。

**Q Facebookのシェアってなんですか？**

Facebookで「いいね！」と「シェア」の違いというか、影響の差というものが、よく分からないのですが。

- A 「シェア」は再投稿することで、自分の近況としてその記事を投稿することと同様です。「いいね！」  
と「コメント」は、その記事について表示されるだけで新たな投稿にはなりません。

**Q 非公開のTwitterなのに写真が公開されるって？**

Twitterで「ツイートを非公開にする」設定にしているのに、写真が公開される場合があるって聞いた  
んですけど、それっておかしくないですか？

- A Twitpicやyfrogなどの外部サービスを利用すると、Twitterでツイートを非公開にしても写真は  
公開されてしまう場合があります。これらの外部サービスはTwitterが公式に写真の投稿に対応して  
いない頃から広く利用されていますので、知らないうちに使い続けている場合が多いようです。ちな  
みにTwitterの提供するサービスでアップロードすれば写真も非公開になります。

## 質問を募集しています！????????????????

「OTのためのIT講座」で取り上げてほしい質問を募集しています。

●「OTのためのIT講座」質問箱 <http://post.afinax.com/>

今回の記事で紹介したFacebookからの投稿も歓迎です！

<https://www.facebook.com/afinax>

記事の感想や要望などもお気軽にお送り下されば幸いです。





# 各部からの報告

## 教育部

### ○連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

### 「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

いよいよ新年度ですね。移動もあったりしてあれこれです。そのスタートの前に皆さんの生涯教育制度の進捗を改めて確認して、来年度の目標を立ててみませんか。また再開するのは勇気がいりますが、そういう人増えてきました。

以下いくつか考えられることを書きますので、ぜひ生涯教育手帳をご確認ください。

#### 1. そう言われても自分の現状がわからない。どうすればいい？！

→心配御無用。教育部までご連絡ください。次に行うことを一緒に検討しましょう。

#### 2. 貼っていないシールがある。

→すぐに貼って（一枠に一枚ずつ！）月日や内容をご記入下さい。

#### 3. 参加証明書がある。

→県士会事務局へポイント手続きする（参加証明書、OT協会会員証コピー、切手貼付・宛名明記の返信用封筒を送付する。

#### 4. 県士会役員や部員、事業の当日運営委員等の委嘱状がある。

→県士会裁量ポイントとして年間最大2ポイント付与します、委嘱状と手帳を県士会へ送付してください。

#### 5. 基礎研修がまだ終わらない。

→まずは現職者共通、選択研修の修了、50ポイント取得して手続きへ。

#### 6. 基礎研修は修了しているが、この先が…。

→基礎研修修了期間内に認定作業療法士取得を目指しましょう。ちなみに申請には50ポイントは不要です。

→認定作業療法士の申請に至らなくても、5年以内に50ポイントたまったら基礎研修修了の更新をOT協会に申請して下さい。

#### 7. そんなこと言っても、全然わからないんだけど…。

→いつでも以下にお問い合わせください。県士会ウェブサイトからも質問できます。

＜問合せ先＞：教育部 奥原孝幸  
昭和大学保健医療学部作業療法学科kyoiku@kyoiku@kana-ot.jp,045-985-6588（直）

## 事務局

### ○渡邊会長はじめ12医療関係団体各代表が県知事らと懇談

～神奈川県病院医療関係団体連絡協議会～

平成23年10月21日(金)、横浜市関内にある神奈川県庁第5会議室において、当会を含む神奈川県病院医療関係団体連絡協議会の各代表らと、黒岩県知事及び木村地域保健福祉部長、中沢参事監兼保健医療部長、石村生活衛生部長らとの「意見交換会」が執り行われました。今回、神奈川県作業療法士会がその会の会長と事務局を担っておりまして、会の紹介と改めてその模様をお伝え致します。

神奈川県病院医療関係団体連絡協議会とは、県病院協会を中心に病院医療関係団体12団体で構成され、神奈川県内の病院医療関係団体の相互理解と連携を図るとともに、病院医療の発展・向上及び円滑な運営に寄与することを目的に平成15年9月24日に設立されました。毎年度会議を開催し、各団体の活動状況の報告や情報交換を行い、病院医療に関する諸課題の解決に向けて相互の連携強化を図っております。

今回、新知事が就任したこともあり、県知事側と当連絡協議会との意見交換会が執り行われることになりました。

渡邊会長（県OT士会長）進行のもと、渡邊県病院協会会長、続いて黒岩県知事よりご挨拶を頂き、次に各団体からの活動状況の報告があり、会が始まりました。

早速、黒岩県知事より「他に行っていることはないか？」「連携とは各組織が自律していないと出来ないのではないかと、診療放射線技師と医師との関係を例に「お互いが診断に関して対等に言えることが県民の利益を生む」とまず各団体が自律すること、それから協働を図ることが重要との意見を頂きました。また「チーム医療というのは本来、医師の指示のもと行う医療ではなく、皆さんが専門職として意見を持ち自律し、協働していく医療」とも語り、患者側の視点をかかさぬよう提言がありました。

折りしも、国は「チーム医療の推進」を図っておりますが、我々も、いつまでもコ・メディカルと呼ばれるのではなく、「メディカルスタッフ」と呼ばれるよう自律していかなければならないと強く感じさせる有意義な意見交換会となりました。

夜遅くまでの資料作成や当日の会議段取り等慣れないことばかりでしたが、県OT士会事務局員及び事務員スタッフならびに三役の皆様も大役お疲れ様でした！！  
（文責：澤口）



## ウェブサイト管理委員会

### ○お使いのブラウザは？

よこ太：久しぶりに自宅で県士会サイトを見たらさ、なんかダサイの！ビックリしちゃった。

ハマ子：家で？久しぶり？

よこ太：うん、そうだなあ...5年ぶりくらいかも。

ハマ子：えーと、何があったのかな？

よこ太：ふふーん、ケーブルを買ったんだよ！

ハマ子：うーと、5年間ははどうしていたのって質問。

よこ太：だって、ネットは職場でOKだし、メールは携帯で事足りるもん。

ハマ子：(-\_-) ...気を取り直して話を元に戻すけど、県士会サイトがダサイって!?

よこ太：そう、職場で見る時は良いんだけど、家で見たらさ、右の図みたいに、崩れちゃってるの！

ハマ子：職場と家で違うっておかしいと思わないの？

よこ太：ん？夜と昼で雰囲気が変わるってことかな。「兄は夜更け過ぎにー」ユキエに変わるだろう」って替え歌もあるじゃん！

ハマ子：知ってるー、達郎さんの「クリスマス・イブ」ね。じゃなくて、それブラウザのIE 6問題よ。

よこ太：いえいえいえいえいえいえ、どんだけ否定!?

ハマ子：セキュリティとかやばいよ。サイバーテロの標的にもなったし。それに、最近はIE 6に非対応のホームページが増えてんのよ。

#### 平成24年1月アクセスランキング

- 1位 作業療法Tips & PDF 16041件
- 2位 講習会・研修会 12758件
- 3位 求人情報掲載板 9990件
- 4位 必見！OTのすご技・アイデア集 6661件
- 5位 再学習☆応援講座 2966件

#### 平成24年1月県士会ブログランキング

- 1位 Hideki Tanaka's blog 1048件
- 2位 ウェブ管的知恵袋 764件
- 3位 おやじOTたちのソネット 405件

更新件数：68件 訪問者延べ数：15665人  
Kanaからの手紙発行回数：36回  
Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロアー160名

### 解説

県士会サイトは、ブラウザ：Microsoft Internet Explorer 6（以下、IE 6）に非対応です。



もし、このようにレイアウトや装飾が崩れて表示される場合は、お使いのブラウザがIE 6である可能性が高いです。ブラウザから[Alt]+[H]を押すなどして製品名とそのバージョンを確認してください。それがIE 6である場合は（OSがWindows XPであれば、自己責任にて）Microsoft Internet Explorer 8を導入するか、Google Chromeなどの他のブラウザを導入することをお勧めします。

#### Microsoft Internet Explorer 8⇒

<http://windows.microsoft.com/ja-JP/internet-explorer/downloads/ie>

#### Google Chrome⇒

<http://www.google.co.jp/chrome>



このように表示されればOKです！

（文責：ウェブサイト管理委員会 作田・大澤）

# 地域リハビリテーション部

## 地域リハ推進班

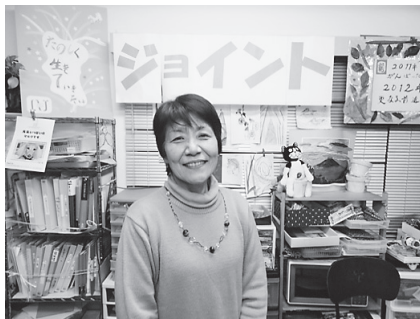
## シリーズ「認知症の作業療法」 ベテランOTへの インタビュー

経験豊富な先輩から聞く「認知症の作業療法」インタビュー。2回目となる今回は、地域で若年認知症のサポートに携わる、東京都作業療法士会所属の比留間先生のインタビューをお届けします。

### 比留間ちづ子先生 プロフィール

東京女子医科大学病院リハビリテーション部に作業療法士として36年勤務後、特定非営利法人 若年認知症サポートセンターの設立に関わり副理事長を務める。2007年より平成19年度厚生省補助金事業として若年認知症社会参加支援センタージョイントを創設し、現在、所長兼作業療法士として活動中。日本病院・地域精神医学会理事／事務局長、日本障害者協会理事／国際担当。日本作業療法士連盟副会長。

若年認知症社会参加支援センタージョイント  
TEL：03-5312-0644 FAX：03-3341-7144  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-32-11 山口ビル3階  
joint.tomorrow@gmail.com



### 若年認知症社会参加支援センタージョイントとは

若年認知症本人のはつらつとした生活への復帰を目指した就労型活動・地域貢献活動の拠点として、週2回（午前10時～午後3時）の活動を実施している。メンバーは現在男性8名、都内、神奈川、埼玉など各地から参加している。スタッフは専任（専門職）4名とサポーター。活動内容は、折込発送、絵葉書・カレンダー作成、絵画、工芸、イベント援助、公園と道のサポーター、地域交流、地域行政との渉外、企業訪問、講演講師、取材対応など。

メンバー全員が名刺を持ち、入退所はタイムレコーダーで記録。朝のミーティングで一日の行動予定を確認し、退所時に活動日誌を記入するという活動方式をとっている。

## 若年認知症の作業療法 vol.1

若年認知症社会参加支援センタージョイント

所長／作業療法士

比留間ちづ子 先生

—若年認知症の方の地域生活を支援する上で、先生が大切にしていることを教えてください。

<場面を作る>

まず、常に頭に置いているのは、若年認知症の本人が、自分の意思で選んでいくことが本来だということです。今のうちならまだ、選択はできます。ただし、彼ら自身が受けてきた嫌な思いもありますし、自分の中で混乱して困っているのに、うまく言えなかったりすることもあります。それを、うまく対処できるような期間や、役割や、人などに出会えると、その場面で解決して、ある意味で「今、自分はどうなんだ」と障害を受容して、周りとの折り合いをつけられます。

しかし、そうではない場合も多いのです。とても頑なになってしまったり、話を受け入れにくい状態になったり、気持ちの中で言い訳をしたり。でも、その気持ちを解き放つことができるのは、やはり仲間同士なのです。我々専門職や支援者が直接できることではありません。

本人同士が、仲間として一緒に活動している中で、「忘れてるな」とか「失敗してるな」ということは、お互いに見えています。そこで、格好をつけても何もはじまりません。だからこそ、外に行ったときには、仲間を待ってあげたり、一緒に切符を買うなどします。いろいろな形で気を配られたり、自分ができることがあれば気を配ったりと、そういった場面の積み重ねが、少しずつ、頑なになったものを解き放していくのです。

援助するというのは、そういった「場面を作る」ことだと思います。そこに作業のかけらを用意するのです。決して作業をすること自体が目的ではありません。「場面を作る」のは、まさにOTなので、私もそういう場面に立ち会っているということは、すごく幸せで楽しいですよ。

<個人を発揮する社会的場面での役割>

もう一点としては役割です。役割を何らかの形で



果たしていくことは、人間本来の、生きていこうとする1つの張り合いですよ。若年認知症で重要な役割というのは、まだまだこれから人生を作っていく役割です。自分が何かできることがある、という実感をもつことが大事なのです。役割と言うのは決して「病者」という役割ではありません。自分が今、生きているという役割なのですが、現実的には認知症という状態があって、忘れやすくなっていたり、前のように仕事をする状況ではないということもわかっているわけです。そうすると、役割を開発していくことになります。

例えばこの場合、1つの会社や社会と見立てたとすると、必要な時に発言ができたり、意見が言えたりすることは、とても大切です。公務員で役所の窓口にあたっている人は、「公園のボランティア登録をしなくては」と私が言うと、「やっぱり区役所だろうな」と答えてくれます。そうとなれば、一緒に区役所のボランティア連絡会の窓口に行き、その方に掛け合ってもらおう場面を作ります。

商社マンをしていた方は、どのような対応にすると人は喜んでくれるか、というような見立てが非常に得意で、人への説明やタイミングなどがとても上手です。弁護士をしていた人は、人の話をじっくりとよく聞いてくれます。シェフをしていた人は料理を作ることや食べてもらうことが楽しみです。

社会的な場面で、いかに個人を発揮できる役割を割り振りできるかが、大切だと考えています。

#### <作業をすること>

今日も絵を書いている方がいましたが、なぜ絵を書くかという、何かしらの作業に取り組んで集中したり、自分自身と向き合う中で、いい意味での暇つぶしができたり、製品になったり、アピールができたり、個人のアイディアをだせたりからです。アクティビティを仕込むことはOTの得意分野です。製作の場面であったり、ミーティングの課題であったり、掃除だったり。作業をすることによって自分自身と向き合ったり、作品を形として残すことで活動に意味を持たせることもできます。

一日というのは、働く外に向けた時間、休息の時間、ADL、余暇など、やはりメリハリがないといけません。現金収入の仕事ではなくても、社会の中で果たせる役割をもつこと、仕事として経験を活かせる役割を見つけて、生活の組み立てをしていくこと。これってまさにOTですよ。

—まさに社会の中、暮らしの中での作業療法の実践ですね。

次に、地域の中での連携についても教えてください。

#### <暮らしの繋ぎの中へ>

若年認知症の方の生活の悩みは、仕事のこと、経済的なこと、家族関係など多岐に亘っていて、OTだけですべてを解決はできません。ときに、ご家族と本人が向き合えなかったり、互いに遠慮しているということも聞きます。本人もご家族もお互いに低迷してしまい、それが一層ストレスになることもあります。そういった時はOTとしてご家族に、少し本人と距離をとるような関わり方をアドバイスすることもあります。その他に、家族の会などを紹介します。

専門家は介入するけれど、時間が限られてしまいます。でも生活の悩みは、その時間だけでは済まないものです。生活の中で、うまく散らばらせるといえますか、必要な機関を紹介したり、繋いだりすることで、みんなで支えるのです。地域の中にはいろいろな人がいますから、「どうすればいいの?」と投げかけると、みんなが助けてくれます。暮らしている人の「繋ぎ」の中に入っていくという意識。それがないとOTとしても、自分としても強くなれないと思います。

OTは医学的な職種であるということで、専門家らしくするのもいいけど、それがどんどん支援の幅を狭めていないでしょうか。生活の実態に関わろうという意識は、まだまだ低いかもしれません。暮らしの繋ぎの中へ入っていく意識があれば、地域でできることはたくさんあります。

#### <お互い様>

四ツ谷地域は、社会福祉協議会の職員さんたちも、とても関わりが上手です。地域のイベントへ声を掛けてくれたり、他機関との繋がりにも一役買ってくれます。ジョイントも地域の中で、掃除や餅つきの手伝いをしたり、お祭りに参加したりと、今や地域の一員となっています。「若年認知症」の特別な団体ではなく、普通の地域団体として活動しています。地域の中での足場が広がることで、メンバーの活動も広がりつつあります。

やはり地域の中で、頼まれたり、頼んだり「お互い様」が大切です。

(次号へ続く)

## 第14回

# 神奈川県作業療法学会準備委員会からの報告

今回は、県学会準備委員会の各委員長から一言ずつ、自己紹介を兼ねて報告していただきました。

### 出口弦舞（渉外部）

「出口と申します。渉外部を2名の部員の方と共に担当させていただきます。幅広く関係団体の方々に後援、協賛を頂けるよう、学会の窓口となりまして活動させていただきます。またプログラムをご覧の方にお役にたてるような広告を各団体の方に提供して頂けるよう努力して参ります。」

### 池淵欽斗（書記）

「はじめまして、今回『書記部』を担当させていただきます。池淵欽斗と申します。『書記部？』と思われる方が大半ではないでしょうか？私もそう思いました。今、私が思うことは、現委員の舵取りを次の委員の方々に残すことが責務だということです。よろしくお願いいたします。」

### 三浦慈子（財務）

「第14回神奈川県作業療法学会で財務を担当することになりました三浦慈子です。会員の皆様からの会費でこの大会は運営されます。皆様から預かった会費を大切に使用させていただきます。今回小田原で学会が開催されます。遠いと感じる方もいるかもしれませんが、観光気分以小田原に来て下さいね。参加をお待ちしています。」

### 牛木彩子（プログラム企画委員会）

「企画プログラム委員を仰せつかりました。国際医療福祉大学の牛木と申します。学会のプログラム構成を担当いたします。不慣れではございますが、皆様のお力をかりながら委員会の任務を遂行して行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。」



後列左から 岩上・出口・平野・鈴木・窪田・池淵・三浦  
前列左から 佐藤・森田・菅原・牛木・小室

### 平野大輔（会場運営委員会）

「来場者の方の立場に立った、スムーズな会場運営を目指します。よろしくお願い致します。」

### 窪田 聡（演題採択委員会）

「演題採択委員会委員長を仰せつかりしております国際医療福祉大学の窪田です。皆様にわかりやすい演題応募の環境を提供すべく、現在準備を進めております。また臨床現場、教育・研究現場を問わず、より多くの会員からの演題応募をお待ちしております。特にまだ学会発表をしたことのない方は、是非発表いただければと思います。勿論既に発表経験のある方からのご応募もお待ちしております。」

### 小室容子（機器展示委員会）

「このたび、平成25年に開催される第14回神奈川県作業療法学会の機器展示委員長を務めさせて頂くことになりました。学会の運営に携わるという貴重な経験を積むことができることは大変光栄ではありませんが、まだまだ経験不足な面もあるため今から緊張し、責任の重さを痛感しております。これからの1年間は学会長をはじめ、学会準備委員会のメンバーに支えて頂きながら全力で準備を進めていきたいと考えております。是非、神奈川県士会員の皆様にもご賛同を頂き、一緒に学会を作りあげていきたいと思っております。ご協力のほど、宜しくお願いします。」

### 岩上さやか（庶務）

「はじめまして。本学会で庶務部を担当することになりました、岩上さやかと申します。『庶務』とは辞書では“特別の名目の無い一般の事務。いろいろの雑多な事務。”という意味です。また『事務』とは“事業経営などに必要な各種の仕事。主として机に向かって書類などを処理するような仕事”です。直接皆様にお会いできる機会は無いと思いますが、学会が無事に開催できるよう、必要な各種名前の無い仕事を、日々机に向かって励み、陰ながら支えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。」

### 佐藤良枝（広報部）

「こんにち。広報部部長の佐藤良枝です。県士会サイトの『小田原学会瓦版』<http://kanat.jp/kotc/post/category/blog>や『ツイッター』@14thodawaraで少しずつ活動を開始しています。見て楽しい、読んでナルホド、そして県学会のお役立ちツールとなれるよう、精鋭3名の広報部員とともに邁進したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。」



## 理事会 報告

### 平成23年度 第5回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日 時：平成24年2月9日(木) 19:00～21:00

場 所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、佐藤、錠内、浅井、奥原、小峰、木村、作田、鈴木、中西、野々垣、原、三浦、澤口 委任理事：机、富山、福留

出席監事：清宮、長谷川 その他：松本・酒井（広報部）、沼田（福祉用具委員会）、名古屋・金山・中尾（事務局書記）

#### ●事務局（澤口事務局長）

①後援名義使用依頼⇒すべて承認

- ・第8回かながわ地域リハビリテーションフォーラム（共催名義使用依頼）、主催：神奈川県総合リハビリテーション事業団地域支援センター、日時：2/11(土)場所：県立かながわ労働プラザ
- ・在宅高齢者の「食べることを支援するための栄養ケアチーム研修 会、主催：一般社団法人日本健康・栄養システム学会、日時：1/21(土)・22(日)、場所：昭和女子大学オーロラホールなど
- ・第5回神奈川県特定施設研究大会、主催：かながわ福祉サービス振興会、日時：2/24(金)、場所：横浜市開港記念会館
- ・第10回神奈川県介護支援専門員協会研究大会、主催：神奈川県介護支援専門員協会、日時：2/26(日)、場所：横浜市社会福祉センターホール 定員：200名 内容：講演、シンポジウムほか

②渉外

- ・県民集会「日本の医療を守るための総決起大会」(H23/11/29) 場所：神奈川県総合医療会館7階大講堂、出席：澤口事務局長、長谷川監事（医療関連団体や市民も含め総勢200名ほどの参加者）
- ・医療専門職連合会定例会（H24/1/24）、出席：佐藤副会長 内容：医療専門職連合会総会の役割確認→総会（H24/3/28）18:30～ 県士会の役割：議事録署名人、講演委員会を渡邊会長、総会役員推薦委員⇒佐藤副会長・原代議員
- ・賀詞交換会への出席：県病院協会（渡邊会長）、県栄養士会（佐藤副会長）

③外部協力

- ・県社協より「自助具普及DVD製作への協力」依頼あり。福祉用具委員会に連絡し以下3名のOTを派遣した。川崎協同病院 村越妙美（川崎協同病院）、木下 剛（横浜市東部病院）、沼田一恵（横浜らいず）

④OT協会関連

- ・震災・復興関連：OT協会より福島県・南相馬市へのボランティア募集周知協力依頼⇒web掲載
- ・平成23年度老人保健健康増進等事業「生活行為向上マネジメントの普及啓発と成果測定研究事業普及啓発」説明会への派遣について（依頼）⇒H24/2/18・19（自治労会館6階ホール）内容：事業説明と生活行為向上マネジメントおよびプログラムについて
- 各士会から2名⇒地域リハ部より木村理事・末吉藍部員
- ・WFOT国内組織委員会（H24/2/19）10時～15時 場所：JAOT会議室⇒出席予定：渡邊会長（大会運営）、錠内副会長（講演展示）、県士会会長代理（佐藤副会長・澤口事務局長）
- ・WFOT独立採算特別プログラム委員会より引き続き委員委嘱依頼あり⇒澤口事務局長受託。上記同日の15時より委員会招集（神保：北里大学病院、田中・茅ヶ崎市立病院、澤口事務局長が出席予定）
- ・臨時総会（H24/2/18）と委任状提出周知依頼⇒web掲載 会場：自治労会館6階ホール 議題：定款修正の件、その他

#### ●学部（中西理事）

- ・講習会実施：①11/12分野別（身障）「上肢機能の基礎から応用」、講師：鴻井建三（横浜市立大学附属市民総合医療センター）、参加者51名 ②11/19分野別（精神）「精神障害領域における身体合併へのアプローチ」、講師：佐藤良江（曽我病院）参加者30名 ③1/7 生涯教育講座（実習指導者養成講座）「教育方法論」、講師：長野正（玉川大学教職大学院科長 教授）、参加者29名 ④1/22分野別（身障）「作業療法士のためのキャリア・デザイン入門」講師：若林秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科：医師）、参加者29名 ⑤1/22分野別（精神）「実践報告」、講師：富田浩史（富士見台病院）、武井寛道（藤沢病院）、参加者26名

#### ●教育部（奥原理事）

- ・講習会実施：①11/23 事例報告登録制度に関する研修会、講師：石川隆志（OT協会学術部学術委員会委員長・秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻准教授）、参加者46名 ②11/3 現職者共通研修「エビデンスと作業療法実践」、講師：作田浩行（昭和大学）、参加者62名「職業倫理」講師：浅井憲義（北里大学）参加者61名 ③2/4 現職者選択研修（発達）、講師：岸本光夫氏（フリーランス）・小松則登氏（愛知県心身障害者コロニー中央病院）、参加者65名 ④2/5 現職者選択研修（精神）講師：藤原修一郎氏（金沢文庫エールクリニック 院長）、内藤清、武井寛道（藤沢病院）他 参加者38名
- ・OT協会教育部生涯教育推進担当者会議出席（12/5）内容：制度の現状報告、認定制度の見直し（認定に審査（試験）導入。今後情報あり）

#### ●広報部（小峰理事）

- ・医療専門職連合会広報委員会との連携：広報紙への執筆、広報委員会編集会議への参加（場所：神奈川県放射線技師会）
- ・対外広報活動：①高校生へのパンフレット送付準備 ②次年度県士会パンフレット製本へ向けて見積り依頼（10社）③ラジオ出演：1/26ラジオ日本 よこはまはす（ヤマシタコーポレーション）④県士会ホームページの運用について検討中 ⑤・かながわ地域リハフォーラムでのブース出展

#### ●地域リハビリテーション部（木村理事）

- ・研修会実施：①2/5 第1回神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング 場所：横浜市開港記念会館 ②12/3 「特別支援学校を中心としたタウンミーティングの有効性の調査」会場：相模原中央支援学校（緑風園跡地）参加者15名
- ・「認知症作業療法実態調査（アンケート調査）」結果を県士会ニュースに掲載し、今後の活動に反映する。

#### ●福祉用具委員会（沼田委員）

- ・研修会実施：①11/26・27「車いすシーティングの基礎と臨床への応用」、講師：木之瀬隆（日本医療科学大学保健医療学部）、亀ヶ谷忠彦（群馬大学医学部保健学科）、参加者27名 ②12/11「自助具の実践」、講師：錠内広之（日本鋼管病院）、安東徹郎・横川匡昭（かながわ自助具工房作製指導員）、参加者7名 ③12/4・1/8・2/5（計3日間）「PT・OTスキルアップ研修」講師：隆島研吾（神奈川県立保健福祉大学）、平田学（神奈川リハビリテーション病院）、池谷充弘（れいんばう川崎）、長谷川拓（横浜市立脳血管医療センター）、渡邊慎一・藤井智・佐藤史子・田中桃枝（横浜市総合リハビリテーションセンター）、沼田一恵氏（横浜らいず）、机里恵（横浜リハビリテーション専門学校）、参加者：3日間15名、2日間2名
- ・HCRへの協力について：ブース出展・福祉機器のデモンストレーションを実施、ALSパイロット事業の報告（木村理事：県士会）
- ・「自助具普及DVD」作成協力：神奈川県社会福祉協議会から事務局を通して依頼あり、3名対応※詳細は事務局の報告参照
- ・OT協会「IT機器レンタル事業説明会」：OT協会からの協力依頼。（地域リハ部とともに参加予定）。

#### ●社会保障制度対策委員会（三浦理事）

- ・平成24年度介護報酬改定講習会（PT士会との共催）2/26：ワールドポーターズ6階イベントホール 定員66名を超えたため、12月末で受付終了。OT参加予定者70名。PT士会との共催で

新規事業となり補正予算を検討⇒承認

#### ●その他：各部・委員会からの次年度事業計画（案）を審議

⇒すべて承認 ※紙面の都合で一部割愛、詳細は県士会Webをご参照下さい。（文責：澤口）

※紙面の都合で一部割愛、詳細は県士会Webをご参照下さい。（文責：澤口）





求人

## 作業療法士募集

**募集人数** 常勤 若干名  
**募集内容** 通所介護施設における機能訓練指導員  
 地域に貢献したいとお考えの方、独立希望の方、見学も受け付けております。  
**施設概要** 通所介護（リハビリ専門7施設 認知症対応型1施設）、地域支援事業  
**給 与** 当社規定による  
**勤務時間** 8：45～17：30  
**勤 務 地** 横浜、横須賀、三浦  
**休日休暇** 日曜、年末年始 他シフトによる休日  
**応募方法** 電話連絡の上履歴書持参  
 又は下記宛に郵送  
**交 通** 京浜急行線  
 京急久里浜駅徒歩15分（本社）

### 株式会社マエカワケアサービス

〒239-0835 神奈川県横須賀市佐原5-22-5  
 TEL：046-874-4970  
 FAX：046-876-6693



求人

## 作業療法士 募集

**募集人員**： 3名  
**施設概要**：515床。脳血管リハ（I） 運動器リハ（I）  
 呼吸器リハ（I）  
**就労期間**： 応相談  
**応募資格**： 作業療法士免許を有する方  
**待 遇**： 給与・手当 当院規定による  
**勤務時間**：8：30～17：30  
**休 日**：年間日数108日（休日出勤あり）  
 年次有給休暇、特別休暇  
**応募方法**：電話連絡の上履歴書を持参又は  
 下記宛てに郵送してください  
 ※主に急性期・回復期の脳血管疾患、また神経難病への  
 自助具作成を含めた訓練を行っています。まずはお気軽に見学にいらしてください。

### 医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院

〒241-0801 横浜市旭区若葉台4-20-1  
 TEL 045-921-6926(直通)  
 リハビリテーションセンター 池田まで  
 Eメール：jinji@asahi-hp.jp  
<http://www.ims.gr.jp/asahi-hp/>



求人

## 作業療法士 募集

**募集人員**：若干名  
**就労期間**：即日～平成25年3月31日  
**応募資格**：作業療法士免許を有する方  
**待 遇**：非常勤職員としての雇用です  
**給 与**：本市規定による 1864円/時給  
**手 当**：交通費相当分支給  
**勤務時間**：8時30分～17時15分  
 ※ 頻度・時間等は相談に応じます  
**休 日**：4週8休制（土曜・日曜勤務有り）  
**応募方法**：電話連絡の上、面接をいたします。  
 履歴書・免許証の写しをご持参ください。  
 ※ まずはお気軽にお問い合わせ下さい

### 問い合わせ先

#### 横浜市立脳血管医療センター

TEL 045-753-2791(直通) FAX 045-753-2905

リハビリテーション部 遠藤まで

Eメール：by-ysbckanrika@city.yokohama.jp

<http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou>



研修会

## 第24回日本ハンドセラピィ学会 学術集会

**主 催** 日本ハンドセラピィ学会  
**日 時** 2012年4月20日(金)・4月21日(土)  
**場 所** はまぎんホール（横浜市桜木町）  
**内 容**  
 テーマ：Clinical Assessmentの構築に向けて  
 基調講演：「ハンドセラピィによる手の機能改善評価法の構築」  
 パネルディスカッション：「Clinical Assessmentの構築に向けて」  
 リサーチャーズミーティング：「ハンドセラピィ領域の研究」ほか  
**対 象** 作業療法士・理学療法士  
**参加費** 日本ハンドセラピィ学会会員6000円・非会員9000円  
**定 員** 500名  
**申込み方法**  
 参加は事前登録が必要です。ホームページよりお申込下さい  
<http://jhts-meeting24.jpn.org/>  
**申込み締切** 2012年3月2日  
**生涯教育ポイント** 2ポイント

### 問い合わせ

24th-hand@marianna-u.ac.jp



## 講演会

## パーソン・センタード・ケア 特別講演会

ーパーソン・センタード・ケアを  
もっと現場、地域に根付かせたいー

主催 NPO法人その人を中心とした認知症ケアを考える会  
日時 2012年5月25日(金)13:00～17:00  
場所 武蔵野公会堂ホール（東京都武蔵野市）  
内容  
座長：○水野裕（いまいせ心療センター副院長、DCMストラテ  
ジックリード、認知症介護研究・研修大府センター非常勤研  
究員）  
講師：○長谷川和夫（認知症介護研究・研修東京センター名誉センタ  
ー長、聖マリアンナ医科大学名誉教授）「パーソン・センタ  
ード・ケアー 診療医としての立場から」  
○ドーン・ブルッカー（英国ウースター大学認知症学部学部長、  
元ブラッドフォード大学認知症研究グループ）通訳：中川経  
子、岡崎洋子「パーソン・センタード・ケアを現場、地域に  
根付かせるためにー英国での取り組みをふまえて」  
対象 パーソン・センタード・ケアに興味のある専門職、一般の方々  
参加費 一般3500円、学生2000円（当日学生証を提示）\*事前振込  
定員 350名（定員になり次第受付を終了いたします）  
申込み方法  
下記ホームページの参加申込みフォーム、または、E-mail、FAXで、  
E-mail、FAXは1人1件として、1.件名:パーソン・センタード・ケ  
ア特別講演会申込、2.氏名 3.OT協会生涯教育制度ポイント申請の  
有無、4.所属、5.連絡先住所、6.TEL/FAX、7.メールアドレス（PC  
メールが受信可能なもの）をご記入下さい。  
申込み締切 4月25日

問い合わせ  
NPOその人を中心とした認知症ケアを考える会(SIG)  
URL: <http://pcc.umin.jp>  
E-mail: [info.pcdc@gmail.com](mailto:info.pcdc@gmail.com) FAX: 03-3939-029



## 研修会

## 第10回作業療法臨床実践研究会

クライアントを幸せにする4つのレシピ  
～作業療法を実践するコツ～

主催 作業療法臨床実践研究会  
日時 2012年5月26、27日  
26日(土)13:00～  
27日(日)9:00～  
場所 聖隷クリストファー大学（静岡県浜松市）  
内容 5月26日 13:00 開会式  
13:10～14:40  
わかりやすい作業科学と臨床応用  
講師 聖隷クリストファー大学 宮前珠子先生  
14:50～17:50  
CMOPとOTIPM（仮）  
ライフケースによるCOPMとAMPSの実施。  
講師 広島県立保健福祉大学 吉川ひろみ先生 古山千佳子先生  
5月27日(日)  
9:00～10:30  
わかりやすい人間作業モデル 事例を踏まえて（仮）  
講師 首都大学東京 小林法一先生  
10:40～11:40  
作業に焦点を当てた臨床実践をするには？  
～全講師陣と参加者の相互ディスカッション～  
対象 作業療法に興味のある方（職種を問いませんが、作業療法に関連し  
た内容になります）  
参加費 10,000円（予定）  
定員 約180名  
申込み方法 氏名・職種・所属施設・連絡先（E-mailアドレスもしくは勤務  
先TEL）・懇親会出欠の有無をご記入の上、下記までE-mailにて  
お申し込み下さい。御不明な点はお気軽に下記メールまでご連  
絡ください。  
お問い合わせ: 作業療法臨床実践研究会事務局（鴨藤）  
E-mail: [clinicalpractice@yahoo.co.jp](mailto:clinicalpractice@yahoo.co.jp)  
申込み締切 平成24年4月30日  
生涯教育ポイント なし

問い合わせ  
作業療法臨床実践研究会事務局（鴨藤）  
E-mail: [clinicalpractice@yahoo.co.jp](mailto:clinicalpractice@yahoo.co.jp)



## 講習会

## 慢性疼痛治療の最前線

～疼痛・拘縮・変形は生体順応反応である～

主催 療法士.com  
日時 2012年4月21日(土)10時～16時30分（9時30分受付開始）  
場所 かながわ労働プラザ ホールB（JR線 石川町駅 徒歩3分）  
内容  
●講師  
脇元 幸一 先生（医療法人SEISEN理事）  
●内容  
日頃臨床で対峙している拘縮・変形の治療に難渋するセラピ  
ストは多いのではないのでしょうか。  
今回の講義では、拘縮・変形の正しい概念を学び、拘縮変形の  
成因プロセスを理解し、ふんだんな実技デモンストレーション  
で生体順応反応としての拘縮変形概念を検証していきます。  
ぜひ、慢性疼痛治療で悩んでいる、理学療法士・作業療法士の方  
のご参加をお待ちしています！！  
対象 理学療法士、作業療法士など  
参加費 10,000円（2012年3月21日までの早期申し込み割引、  
以降は12,000円）  
定員 100名  
申込み方法 療法士.comにて受付中 担当者：療法士.com編集部  
山田  
<http://ryouhousi.com/modules/c.....r-2st.html>  
申込み締切 2012年4月20日  
生涯教育ポイント なし

問い合わせ  
療法士.com編集部  
[info\(@\)ryouhousi.com](mailto:info(@)ryouhousi.com)



## 研修会

## 若手療法士のための 姿勢制御の評価と治療のポイント

主催 療法士.com  
日時 2012年6月16日(土)10時00分～16時30分（9時30分受付  
開始）  
場所 ウィリング横浜 研修室  
内容  
【講師】 福井 勉 先生  
【内容】 人の姿勢の制御は簡単ではないように思います。さらに  
それを運動療法に適応させるためには基本的な理解が必要  
であると考えられます。  
そのため本講義では、どのような治療アプローチを行う  
場合にも有効と考えられる姿勢や動作のとりえ方の基本  
を提示します。  
身体重心、足圧中心は力学的解釈には重要な部位であり、  
これらのコントロールを施行する前後での変化やその  
解釈について述べたいと思います。  
対象 理学療法士、作業療法士など  
参加費 10,000円（事前振込み）  
定員 先着順100名  
申込み方法 療法士.comにて受付中 担当者：療法士.com編集部  
山田  
<http://ryouhousi.com/modules/c.....r-2st.html>  
申込み締切 2012年6月13日  
生涯教育ポイント なし

問い合わせ  
療法士.com編集部  
[info\(@\)ryouhousi.com](mailto:info(@)ryouhousi.com)

連載

## 青年海外協力隊体験記

## ～大草原の小さな私～

## 第7回 ここで働いています！

青年海外協力隊 平成23年度2次隊 川島由貴子

●執筆者プロフィール  
川島（旧姓 堤）由貴子

大学卒業後一旦就職するも、退職。その後、作業療法士資格を取得し、都内の病院へ3年間勤務する。平成23年9月より協力隊員としてモンゴルに赴任。現在、首都ウランバートルの国立外傷病院にてPT隊員と共に活動中。

## ●国立外傷センター

最初に来た時は、不安を覚えすごく古く見えた建物も設備も、3カ月を過ぎ慣れてきたのか、アットホームな「私の病院」という感覚になっている。

私の働く外傷センターは、国の外傷関係の治療の殆どを担っている外傷関係の中では一番大きな病院だ。リハビリ科もその中にある。また、研究機能、学生の研修機能も併せ持つ。

実はモンゴルでは、3年前に、看護学校に付属した理学療法士科が開設され、ちょうど去年（2011年）の9月に初の卒業生が誕生した。とはいえ、人数は少ないし、さらに卒業生の大半が国立第一病院というところで働いており、リハビリ専門職がいないところが殆どだ。私の病院にもモンゴル人のPTはいない。ましてやOTとなると…。ただし、モンゴルにはリハビリという概念は入っていて、リハビリ専門医もいる。彼らは、OTというものを知っており、その役割や重要性を認めてくれている。そういう意味では、活動しやすい国ではある。

ただ、リハビリの概念が狭く、OTの捉え方も障害の捉え方も狭くなっている。また、現在、リハビリスタッフとしてリハビリを担っているのは看護師であり、彼らの知識はまちまちだ。

このような環境の中で、今、私が何をしているか。まずは、モンゴルに慣れるために同じリハビリ室で働く。なんでもする。そして、モンゴル語で話し、モンゴル料理を食べる。

モンゴルでは、各科の医師から紹介された患者をリハビリ医が見て処方を出すというしくみになっている。私の活動先は病院なので、患者さんは待つ

くれない。次々と来る。働き始めてから1週間も経たない内にリハビリ処方が出たので、身振り、手振り、写真や例を多用しながらどうにか治療をやった。それ以来、院内リハに明け暮れる日々が続いている。最初は、モンゴル医療の理解とマンパワーから始めようと思う。

モンゴル人は、最初からフレンドリーに接してくる人は少なく、あいさつもしない人も多い。最初は、居場所が無いように感じた時期もあった。私が任期を予定より3カ月遅らせたこともあり、3カ月前に来たPTはすごく眩しく見えた。それでも、私たちの仕事ってやっぱりいいと感じたのは自分の技術を見せれるということ。患者さんがよくなっていくとスタッフの見る目が変わる。これからまだまだ先は長い。どんなことが起こるのか楽しみだ。モンゴル語も日々上達し、どうにか患者さんに重要なことくらいは伝えられるようになってきた。今日も、一步一步進みます。

## おまけ：モンゴル語のあいさつ

バヤルラッラー

「ありがとう」の意。しかし、日本人には発音が非常に難しく、私も未だに正確には発音できない。モンゴルでの語学訓練の際、同期の協力隊員と共に何度も発音練習させられた思い出の一言でもある。

## 青年海外協力隊（JOCV）

JICAボランティア事業は日本政府のODA予算により、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。開発途上国からの要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。その主な目的は、（1）開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与、（2）友好親善・相互理解の深化、（3）ボランティア経験の社会還元です。（以上、JICAホームページより抜粋）

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース &lt; 154号 &gt; 2012年3月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊慎一

編集責任者 小峰一宏

編集担当 松本政悦・大宮幸恵・菊地美帆・千葉友浩・矢野竜也・川島由貴子・本間嗣崇

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX：045-663-5997  
月火水木金 10：00～16：00 メールアドレス：jim@kana-ot.jp一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川

検索